

砂利下専用 織物防草シート

「くらし価値」創造企業

DAIKEN

グラスバスター

砂利下用

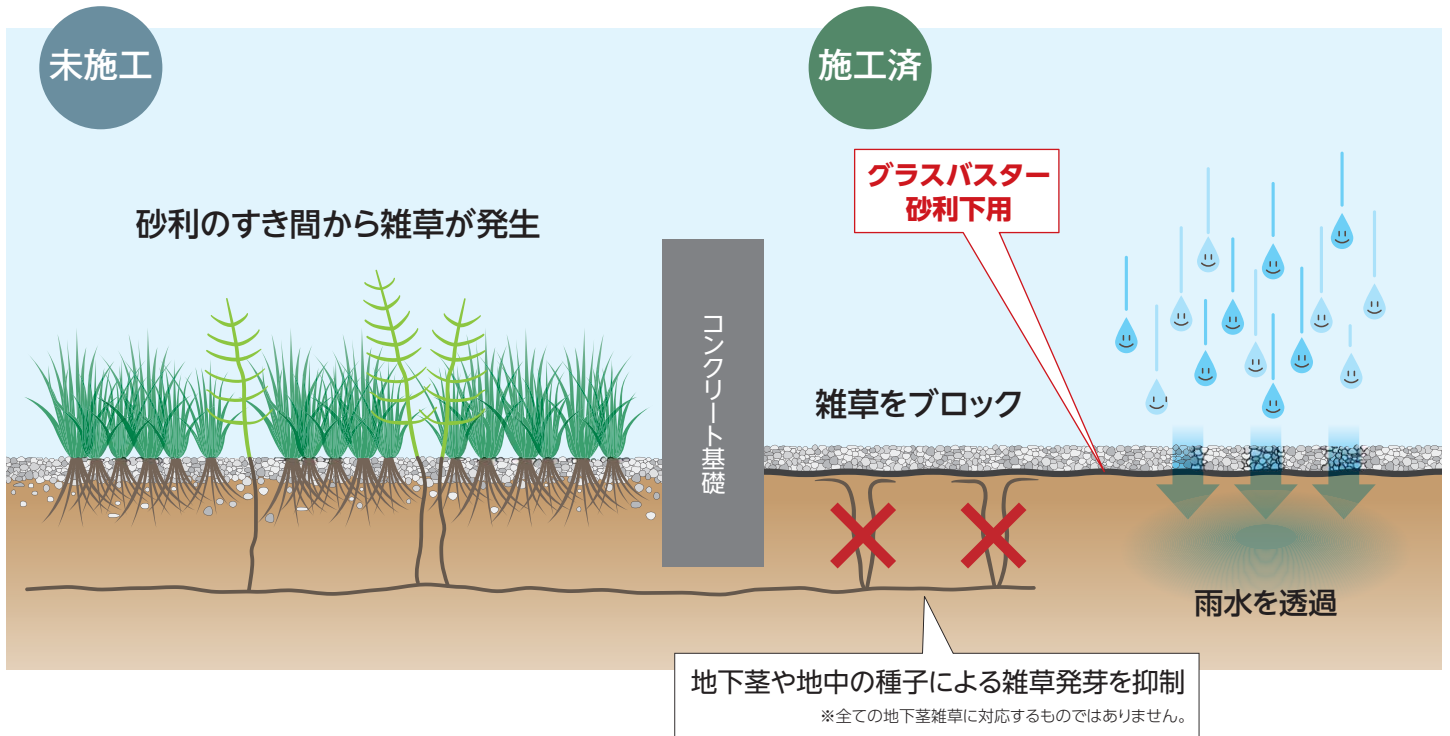
美しい庭砂利を
雑草から守る。

大建工業株式会社

砂利下のための防草シートです。

グラスバスター砂利下用とは

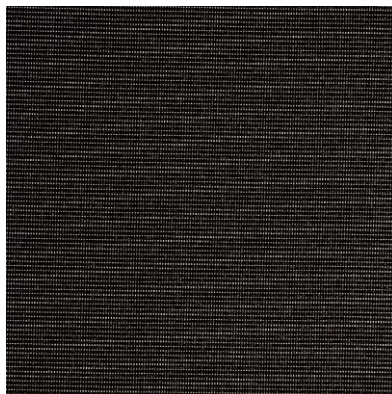
優れた性能で雑草の発生を抑制する、織物型の砂利下専用防草シートです。防草効果だけでなく、砂利の埋没も抑制します。



均一に雑草の発生を抑制できる、織物型シートを採用

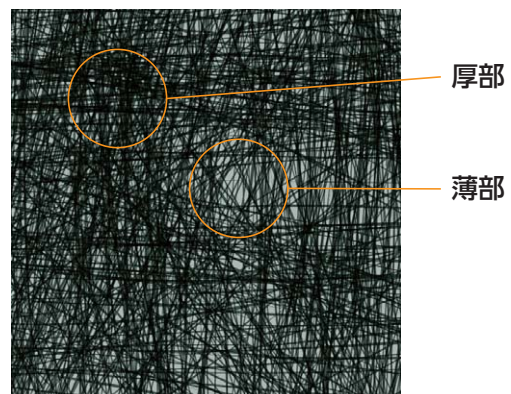
均一な遮光性が得られやすい織物構造を採用。

不織布構造で生じがちな繊維ムラをなくすことで、雑草抑制効果を高めました。



グラスバスター砂利下用

繊維が均等に配列。
遮光にムラが生じにくい。



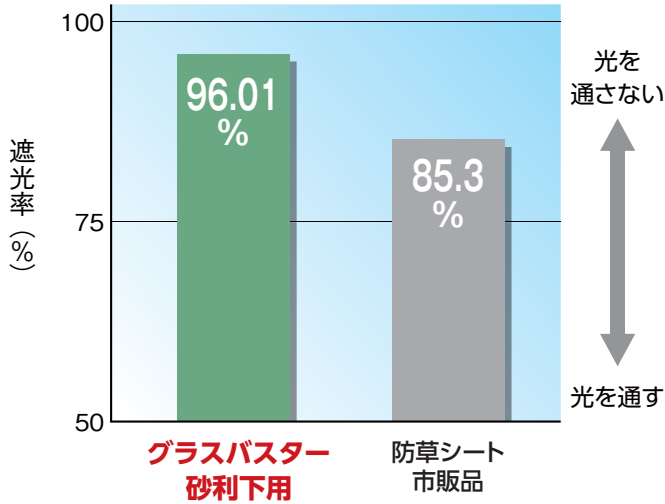
市販不織布製品例(イメージ)

繊維の偏りがあり、厚部と薄部が発生。
遮光にムラが生じやすい。

グラスバスター砂利下用の優れた特長

遮光性

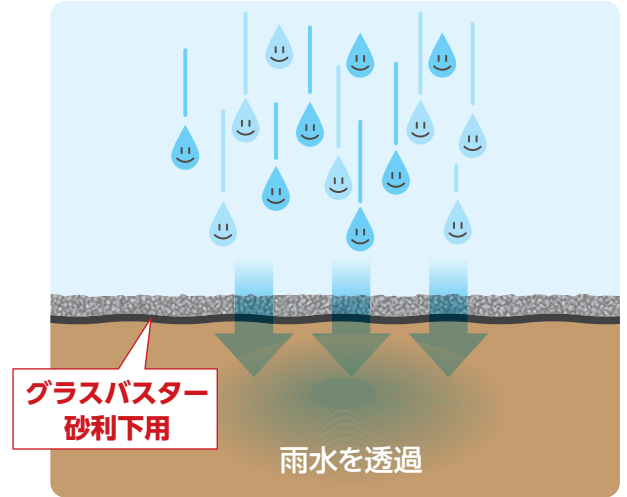
高い遮光率で日射を遮り、
雑草の発生を抑制



JIS L 1055 A法
※社内測定値であり、保証値ではありません。

透水性

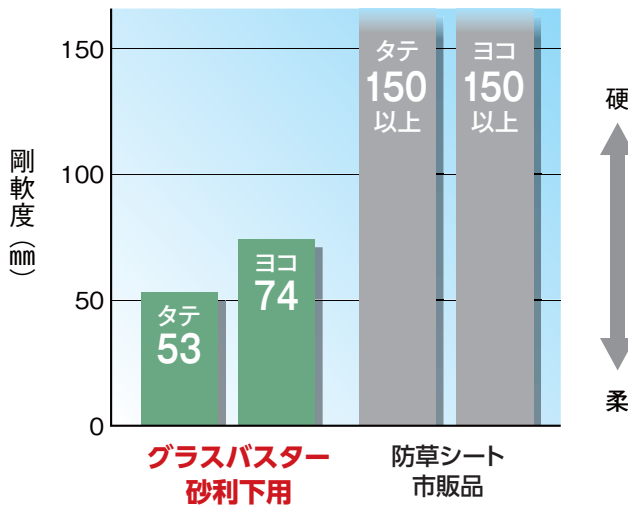
水を通すため、
水たまりができてにくい*



*土壌の水はけが悪い場合、水たまりができることがあります。

施工性

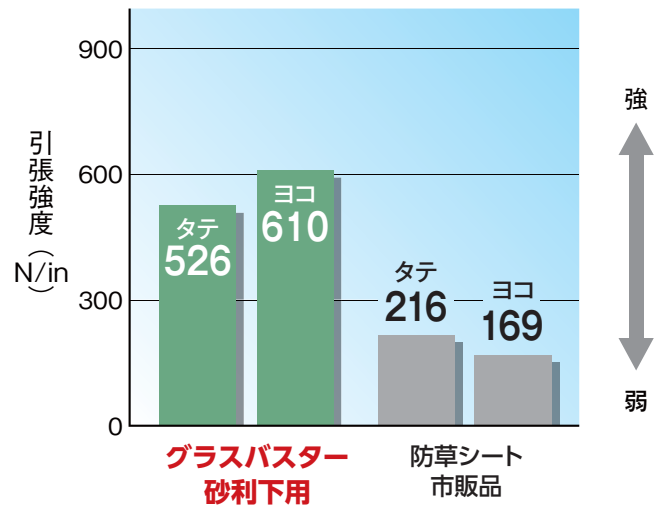
シートが柔らかく、
土地形状になじみやすいため
施工性◎



JIS L 1096 A法 45°カンチレバー法
※社内測定値であり、保証値ではありません。

耐久性

織布特有の均一な強度で
シートが破れにくい



JIS L 1096
※社内測定値であり、保証値ではありません。

実験で証明された防草効果。

優れた防草効果を実証

防草効果の確認として、スギナによる貫通試験をおこないました。

施工前の様子
(スギナ群生)



試験方法

スギナ群生地帯にて、スギナを一度刈り、シートを施工して経過観察をおこないました。

試験期間

2015年4月～7月(4ヶ月間)

施工の流れ



草刈り前



草刈り後



シート施工



砂利敷設



シートなしの場合と比較

施工直後

4ヶ月後

シートなし



砂利の下から
スギナが多数発生

グラスバスター
砂利下用を使用



スギナの発生なし

安全に、正しくご使用ください。

施工前の準備

グラスバスター砂利用用(本製品)の施工には、本製品のほか、以下のものをお客様にてご準備いただく必要があります。

部材

名称	数量	備考
専用施工ピン QM0492-B13	目安:3本/m ²	長さ100mm(コ型)
専用施工テープ QM0490-B20	必要に応じて	幅100mm
砂利	シート施工面積分 (厚さ50mm以上)	大きさ目安 直径20mm程度

工具

名称	備考
ハンマー	ピン打ち込み用
はさみ	シートカット用(裁ちばさみ推奨)

施工方法

1. 施工場所の掘削

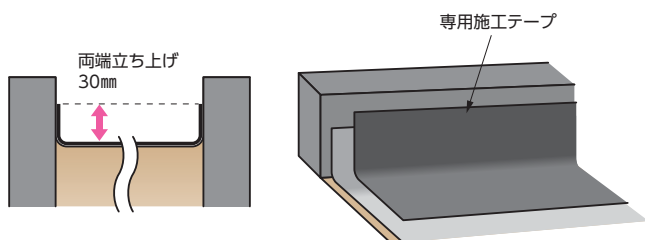
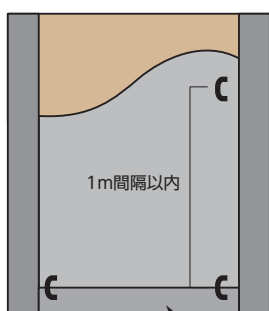
砂利の厚さ分、施工場所の地面を掘削します。
掘削深さは50mm以上になるようにしてください。



アドバイス 土壌の水はけが悪い場合は、砂利を厚く敷きこむことで、水たまりが発生しにくくなります。

2. シートの敷設

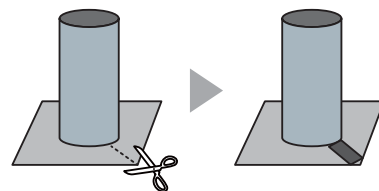
シートを敷きこみ、専用施工ピンを1m間隔以内でとめてください。
シート短辺の端部は100mm程度内側に折り込んでください。
シート端部は30mm程度立ち上げてください。
(立ち上げることで、シート端部から雑草が発生しにくくなります。)
立ち上げたところには専用施工テープを貼ってください。



3. 雨どい、配管周りのシート施工

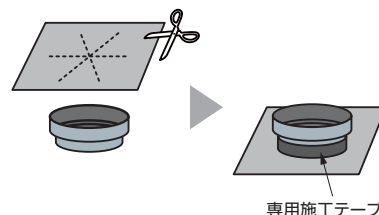
[雨どい]

シートに切り込みを入れて施工してください。
入れた切り込みは専用施工テープを貼って、つないでください。



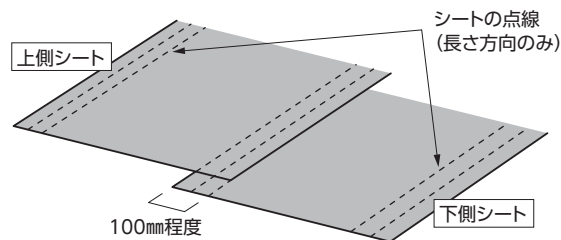
[配管周り]

シートを配管の大きさ、形にカットして施工してください。
配管とシートの隙間は専用施工テープを貼ってください。



4. シートを継ぐとき

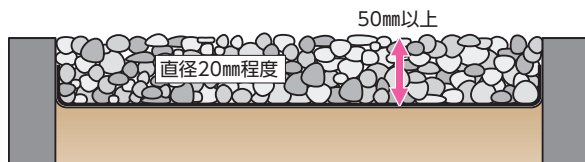
2枚のシートを100mm程度重ねて施工してください。
(シート長さ方向には点線が入っていますので、重ねしるの目安にしてください。)



5. 砂利の敷きこみ

シートの上に砂利を敷きこみ、シートが見えなくなるようにならしてください。

お願い 砂利厚さが50mm以上になるよう敷きこんでください。
砂利は直径20mm程度のものを使用してください。

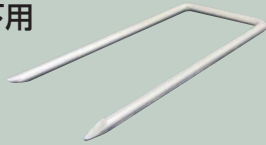


■グラスバスター砂利下用



品番	サイズ	カラー	入数	重量	材質	価格
QM0403-113	1×10m/巻	黒	1巻/梱	約1.5kg	ポリエステル	オープン価格
QM0403-123	1×50m/巻	黒	1巻/梱	約6kg	ポリエステル	オープン価格

■グラスバスター砂利下用 専用施工ピン



品番	サイズ	入数	重量	材質	価格
QM0492-B13	幅45×長100mm	50本/梱	約1.2kg	鉄	オープン価格

※ピンは3本/mが目安ですが、敷地形状等により異なりますので事前によくご確認ください。

■グラスバスター 専用施工テープ



品番	サイズ	カラー	入数	重量	材質	価格
QM0490-B20	幅100×長20m巻	黒	10巻/梱	約7.3kg	ポリエチレン/ アクリル系粘着層	オープン価格

「グラスバスター砂利下用」は砂利下専用です。シート単体(曝露状態)で使用される場合は「グラスバスター」をご使用ください。

正しく安全に施工して、お使いいただくために下記文章を必ずお読みください。
なお、「安全のために必ず守ること」は施工上及び使用上大切なことですので、必ず事前にご確認ください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重症などに結びつく可能性があるもの
	注意	誤った取扱いをしたときに軽症または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	禁止		指示に従う
--	-----------	--	--------------

	警告		急傾斜地に施工しない。 けがの原因
	注意		風の強いときには施工しない。 施工中シートをめくれ、飛散の原因 日常的に強風の発生が考えられる場所(屋上、ベランダなど)には施工しない。 シートをめくれ、飛散の原因
			施工場所に凹凸がある場合、平らに整地してから施工する。 歩行時のけが、シートの破れの原因
			シートを施工したら、速やかに砂利を敷きこむ。 シートをめくれ、飛散の原因
			埋設物(配管・配線など)が予想される場所に施工する場合、必ず埋設物の位置を確認する。 施工ピンによる埋設物破損の原因
			施工ピンは浮きのないようしっかりと打つ。 シートをめくれ、飛散の原因
			施工場所は、事前に障害物(大きな石など)を取り除く。 歩行時のけが、シートの破れの原因

お願い

- 施工場所は事前に除草作業をおこなってから施工を開始してください。
- 人工芝やウッドチップで仕上げる場合、施工方法は人工芝やウッドチップの取扱業者の指示に従ってください。
- 施工中にシートが破れた場合は破れたところにシートを重ねて張るか、グラスバスター専用施工テープ(QM0490-B20)を貼ってください。
そのまま放置すると、雑草発生の原因となります。
- 砂利から雑草が発芽したら、速やかに除草してください。そのまま放置すると、雑草繁茂の原因となります。
- 目的用途(防草シート)以外での使用はしないでください。
- 本製品を廃棄する場合はお住まいの各自治体の指示に従ってください。(シートの材質はポリエステルです。)
- 砂利は最低でも50mm厚は敷きこんでください。シートの破れ、雑草発生の原因となります。
- 砂利が敷きこまれていても、シートの上を車で走行しないでください。シートの破れ、雑草発生の原因となります。
- 敷設する砂利の大きさは直径20mm程度のものを使用してください。砂利が小さいと砂利から雑草が発生しやすくなります。
- 本製品は砂利下専用の防草シートです。曝露状態では使用しないでください。
- 本製品の保管時は直射日光、著しい湿気、荷重を避け、室温未開封状態で保管してください。

植物によってはシートを突き破ったり、シート端部や重ね部から発芽することがあります。

製品保証について : 本製品は屋外でご使用頂く防草シートです。施工される地域や自然条件等が異なりますので、施工後の製品保証は致しません。

業務用

※価格・仕様は2015年12月現在。

掲載価格はメーカー希望小売価格で、消費税及び組み立て・施工費は含まれておりません。

- 本文記載の表示価格には、消費税は含まれておりません。
- 価格・仕様他、当カタログの内容等は予告なく改訂する場合があります。
- 写真は実際の色・材質感とは多少違う場合があります。

大建工業株式会社 本社 〒530-8210 大阪市北区堂島1丁目6番20号(堂島アバンザ)22F

© DAIKEN CORPORATION 2015.12

本書に収録したものはすべて当社に著作権の存するものですから、無断の複製はかたくお断りします。

製品のお問合せは

サウンドセンター 東京 TEL. (03) 6271-7785 大阪 TEL. (06) 6452-6141
受付時間: 平日9:00~17:00(土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みとなります。)

発行 2015年12月

[674-01] ON2015.12 [P1.1-05]